

祈願！コロナ早期退散

■ 今月のコロナは・・・

8月の東京五輪開催中の頃は、連日全国で一日に2万人を超えるような感染者数の報告がされていました。9月に入っても緊急事態宣言が月末まで延長されましたが、感染は急速に収まって来ました。小紙では毎月「コロナ早期退散」を祈願してきましたが、その効果が現れてきたようです。雨上がりの朝、天を仰いだらうっすらと虹が見えました。

これは希望の虹なのでしょう。澄んだ空の中で太陽に向かって弧を描いていました。

コロナは今後完全に退散することはなく、これからは With コロナの時代といわれています。

ワクチン接種が済んでも感染する“ブレークスルー感染”という、またまた新たな横文字言葉が出てきました。少し気を抜くとすぐに人類に牙をむく厄介なコロナに対して「退散祈願」のタイトルをどう変えるべきか思案中です。これからは何を祈願すればよいのでしょうか。

■ 自民党総裁選挙⇒次の総理大臣の選出



9月29日に自民党総裁選で岸田新総裁が選ばれました。10月4日には臨時国会が召集されて、総理大臣に選出されることとなります。

写真は何年か前に地方 JAM主催の国会見学会での土産として買ってきたマグカップです。歴代首相の顔がここに描かれていますが、菅首相就任前のものでここには描かれていません。1年で退陣となってしまって新しいカップを買う間がありませんでした。次に見学に行くときにはここに何人の顔が追加されているのでしょうか。

■ zoom 会合報告 [JVC Snior net \(jvc-senior.com\)](http://jvc-senior.net) 参照

9月28日(火)に毎月定例の会合を開催しました。すでにその報告はHPにアップされているのでご覧ください。スマホでの参加も何人かいます。慣れてくればスマホを利用して実況中継もできるので、オンライン会合の話の幅が広がります。



9月19日の体験会には新しい方の参加がありませんでした。話すのが苦手ということで参加を躊躇されている方も、人の話を聞くだけでも良いと思うので是非ご参加ください。

■ CPTPP (TPP11) 「包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定」

2月に英国、そして9月に中国、台湾と立て続けに加盟申請があったTPP。ところが実際にはCPTPPと呼ばれていて、TPPとCPTPPは何が違うのか調べてみました。

TPPの和訳「環太平洋パートナーシップ協定(TPP12)」に対してCPTPPは上記の通り随分と長い名前になっています。以下、一部をネットから抜粋します。

TPPは2005年にブルネイ、チリ、ニュージーランド、シンガポールによって署名された環太平洋戦略的経済連携協定(TPSEP または P4)を核として、2008年以降米国をはじめとして太平洋を囲む国々が加わり12カ国での交渉に拡大した。

2016年2月に全12カ国の署名がなされたが、翌年1月、トランプ大統領就任直後に米国は離脱を決定したためにTPPは発効しなかった。

残るTPP11カ国は同年5月、この協定復活に向けて交渉を行うことに合意し、新しい協定はCPTPPとして、2018年12月に発効した。



【国旗がどこの国かわかりますか】

TPP加盟に際しては各国それぞれ国内における賛否の意見対立を超えての署名でした。加盟により貿易が有利になる国内の産業分野と、逆に不利になってしまう分野との駆け引きがありました。業界団体あげての反対行動も見られ、デモや訴訟問題も起こっていました。

日本は当時の米国オバマ大統領から誘われる形で交渉に参加したのに、政権交代で米国は離脱してしまい、以降は日本がリーダーシップをとってCPTPPを取りまとめてきました。

CPTPPの条項の多くはTPP協定を引継いでいますが、米国に付度して米国がTPPに復帰しやすいよういくつかの条項の基準を下げているとのこと。しかしそれでも新規に加盟しようとする国にしてみればハイレベルの条件をクリアするための国内整備が必要です。

米国が復帰して初めてTPPが発効することになるのですが、その前に中国がCPTPPに加盟して大きな椅子を占めてしまおうというところでしょうか。ハイレベルの加盟条件をクリアできるかが問われます。台湾も加盟申請をし、その他のアジア諸国も関心を示している中、今後も日本の指導力が求められる場で大いに力を発揮してほしいものです。

■ 事務局から

・年会費納入について・・・

8月に郵貯の振込用紙を送付しましたが、会員の皆様の快いご支援をいただき、すでに多くの会員の方から納入をしていただいております。複数の方から「振込用紙が入っていない！」との連絡頂きました。資料発送作業時のミスです。歳のせいかミスが多くなってしまいました。お許してください。

まだお手元に振り込み用紙がある方は是非早いうちに郵便局に足をお運びください。

・Victor ヒストリカル ミニチュアコレクション

かつての日本ビクターの名機がミニチュアフィギュアとして発売されます。ネットで随分とこの情報が飛び交っていてすでにご存じの方も多く、購入予約をしている方も多いことと思います。当初の発売予定日から品物が届くまでに数日遅れていますが、愛社精神の強い多くのOB・OGが注文したのでしょう。

フィギュアメーカーは増産体制で頑張っているのではないのでしょうか。

どんなものが届くのか楽しみです。



事務局長 田代 周